

1. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H24 年-H26 年）

研究分担者	今井光信	（田園調布学園大学 神奈川県衛生研究所）
研究協力者	近藤真規子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	佐野貴子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	大野理恵	（神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班）
	須藤弘二	（慶應義塾大学 医学部微生物学・免疫学教室）
	加藤真吾	（慶應義塾大学 医学部微生物部・免疫学教室）

研究概要

本研究班では保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を図るため、全国の全保健所等を対象とした HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を H24 年から H26 年の 3 年間に亘り毎年実施し、その解析を行った。

また、平成 25 年と 26 年には、前年度の「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査の設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所に追加の調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯についても調査した。

さらに、平成 26 年度には「梅毒の新たな検査手法の開発等に関する研究」班との共同研究として、保健所における梅毒検査の実施状況を把握するため、梅毒検査に関するアンケート調査も同時に実施した。

3 回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象施設の 80%以上（H24 年；82%, H25 年；85%, H26 年；81%）から回答を得ることができた。

アンケート結果では、回答の得られた保健所等で、H24 年には 85,540 件、H25 年には 93,408 件、H26 年には 94,419 件の検査が行われ、各年の陽性数と陽性率はそれぞれ 217(0.25%)、240(0.26%)、231(0.24%)であった。陽性結果を受検者本人に伝えられた件数と率は 204(94%)、224(93%)、215(93%)であった。また、陽性と分かった受検者がその後医療機関に受診したことを把握できている件数は各年で 148(73%)、185(83%)、182(85%)であった。また、陰性結果については、各年とも 98%が受検者に結果が伝えられていることが分かった。

感染症法に基づく届け出に関しては、平成 24 年には陽性と分かった 217 件中の 135 件（62%）が、平成 25 年には 146 件（61%）が、平成 26 年には 131 件（57%）について自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成 24 年に即日検査を実施した保健所は、回答のあった保健所の 65%で、H25、H26 には 68%、69%とわずかながら徐々に増加していることが分かった。また、土日夜間検査については、各年で、48%、50%、50%とほぼ半数の保健所で実施していた。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、各年の回答のあった特設検査相談施設数・検査数・陽性数・陽性率は 21 か所 26,926・154(0.57%)；18 か所 23,318・142(0.61%)；18 か所 23,926・147(0.61%)であった。

平成 24 年度と平成 25 年度の「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査の設問で、昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例・検査受検があったと回答した保健所（平成 25 年度 53 か所、平成 26 年度 50 か所）に対して調査票を送り、平成 25 年には

36 か所 (68%) から、平成 26 年度には 39 か所 (79%) から回答があった。2 年間の回答結果についてまとめると、事例としては、相談のみの事例が 19 例、検査のみの事例が 18 例、相談 + 検査の事例が 34 例であった。保健所で検査相談を受けた理由としては、基本的には HIV 感染に対する心配によるものであったが、産婦人科での結果が判定保留のためが 8 例、産婦人科が保健所検査を紹介したためが 4 例あった。

平成 26 年度に行った「保健所における梅毒検査体制に関するアンケート調査」に HIV 検査事業と一緒に梅毒検査を行っていると答えた保健所は 308 施設で、それら施設で平成 26 年 (1 月 - 12 月) に実施された梅毒の検査総数は 49,335 件、陽性は 698 件 (1.4%) であった。梅毒の即日検査に関しては、実施しているのは 61 保健所であった。

梅毒の検査時間帯に関しては、97% と、そのほとんどが HIV 検査と同時間帯に実施していた。結果返しに関しては、2 日から 1 週間が 165 件 (54%) と最も多く、1 週間から 2 週間が 84 件 (27%)、即日 が 57 件 19% であった。

保健所アンケート実施の一つのきっかけでもあった誤通知問題に関しては、平成 24 年に 1 件、平成 25 年に 5 件の報告があった。このため平成 25 年度の本報告書において、誤通知例の概要、原因等を報告し、その防止策の強化に関する注意喚起を行った。平成 26 年には、幸い誤通知例の報告は 0 件であった。平成 25 年の誤通知例に関する情報を共有し、各施設で誤通知防止のための対策を徹底した成果と思われるが、今後も誤通知等の発生防止に向けて継続した努力と注意喚起が必要である。

A. 目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を継続的に把握し、その充実を図るため、全国の全保健所等を対象に平成 24 年度から平成 26 年度の 3 年間に亘り、HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

また、平成 25 年と 26 年には、保健所の HIV 検査相談と妊婦の HIV 検査との関わりについてもその実態調査を行った。

さらに、平成 26 年度には「梅毒の新たな検査手法の開発等に関する研究」班との共同研究として、保健所における梅毒検査の実施状況を把握するため、梅毒検査に関するアンケート調査も同時に実施した。

B. 方法

全国の保健所およびその支所等の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 24, 25, 26 年に年 1 回、HIV 検査相談に関するアンケート調査票 (資料 1 参照) を郵送し、返送用封筒

によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

また、平成 25 年と 26 年には、前年度の「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査の設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所に追加の調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯についても調査した。

さらに、平成 26 年度には「梅毒の新たな検査手法の開発等に関する研究」班との共同研究として、保健所における梅毒検査の実施状況を把握するため、梅毒検査に関するアンケート調査も同時に実施した。

C. 結果

3 回の全国保健所アンケート調査において、全国の保健所等の協力により、対象とした施設の 80% 以上 H24 (82%)、H25 (85%)、H26 (81%) から回答を得ることができた。ま

た、特設検査相談機関についても、対象とした施設のほぼ 80%の施設からアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった保健所等施設のほとんど(99%以上)が HIV 検査相談を実施していた。

② HIV 検査総数と陽性率

回答の得られた保健所等で、H24 年には 85,540 件、H25 年には 93,408 件、H26 年には 94,419 件の検査が行われ、各年の陽性数陽性率はそれぞれ 217(0.25%)、240(0.26%)、231(0.24%)であった。

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率

陽性結果を受検者本人に伝えられた件数と率は 204(94%)、224(93%)、215(93%)であった。また、陽性と分かった受検者の医療機関への受診を把握できている件数は各年で、148(73%)、185(83%)、182(85%)であった。また、陰性結果については、各年とも 98%が受検者に結果が伝えられていることが分かった。

④ 検査 HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、平成 24 年には陽性と分かった 217 件中の 135 件(62%)が、平成 25 年には 146 件(61%)が、平成 26 年には 131 件(57%)について自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 以外の性感染症については、平成 24 年には 83%、平成 25 年には 77%、平成 26 年には 84%とかなりの保健所で行われており、その内訳では、梅毒が 78%(平成 24 年)、65%(平成 25 年)、66%(平成 26 年)、クラミジア抗体が 56%(平成 24 年)、42%(平成 25 年)、39%(平成 26 年)であった。また、B 型肝炎検査に関しては、平成 24 年には 78%、平成 25 年には 68%、平成 26 年には 64%と

かなりの施設が検査を実施していた。

⑥ 梅毒検査体制に関するアンケート結果

平成 26 年度に行った「保健所における梅毒検査体制に関するアンケート調査」に HIV 検査事業と一緒に梅毒検査を行っていると感じた保健所は 308 施設で、それら施設で平成 26 年(1 月 - 12 月)に実施された梅毒の検査総数は 49,335 件、陽性は 698 件(1.4%)であった。梅毒の即日検査に関しては、実施しているのは 61 保健所であった。

梅毒の検査時間帯に関しては、97%と、そのほとんどが HIV 検査と同時間帯に実施していた。結果返しに関しては、2 日から 1 週間が 165 件(54%)と最も多く、1 週間から 2 週間が 84 件(27%)、即日が 57 件 19%であった。

⑦ 即日検査の実施状況

即日検査の実施状況に関しては、平成 24 年に即日検査を実施した保健所は、回答のあった保健所の 65%で、H25、H26 には 68%、69%とわずかながら徐々に増加していることが分かった。

⑧ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

土日夜間検査については、平成 24 年に 48%、平成 25 年に 50%、平成 26 年に 50%とほぼ半数の保健所で実施されていた。

⑨ 検査法と実施時間の組み合わせ

平成 26 年の調査では、通常平日の検査は 24%、通常夜間が 6.4%、通常土日が 0.4%であり、即日平日が 18%、即日夜間が 17%、即日土日が 6.9%であり、両検査平日が 7.9%、両検査夜間が 12%、両検査土日が 7.7%であった。これら組み合わせの実施比率は調査した 3 年間でほぼ一定であった。

⑩ 年間検査件数別の保健所分布

平成 26 年の調査では、年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 157 か所(34%)、50 件以上 100 件未満は 87 か所(19%)、100 件以上 200 件未満は 93 か所(20%)、200 件以上 500 件未満は

83 か所(19%)、500 件以上 1000 件未満は 29 か所(6.2%)、1000 件以上は 13 か所(2.8%)であった。この分布はこの 3 年間ほぼ同様で大きな変化は見られなかった。

⑪ 年間検査件数別の検査数

平成 26 年の調査では、年間検査件数が 200 件以上の保健所数は保健所総数の 28%であったが、そこで実施された検査件数は、検査総数の 75%を占めていること、また、年間 500 件以上の施設は 9%であるが検査総数の 46%を占めていた。これらの結果はここ 3 年間の調査でもほぼ同様であった。

⑫ 年間検査件数別の陽性率

平成 26 年の調査では、保健所等の HIV 検査相談における陽性率は、平均では 0.24%であり、年間検査数別に調べると、検査数 50 件未満の保健所では 0.16%と低く、500-999 件の施設では 0.21%、1000 件以上の施設では 0.34%と検査数の多い施設では陽性率も高い傾向がみられた。この傾向はこの 3 年間ほぼ同様であった。

⑬ 予約制の有無

予約制については、通常検査では平成 24 年に 56%、平成 25 年に 58%、平成 26 年に 57%が、また、即日検査では各年で 81%、81%、80%であり、即日検査では多くの検査施設が予約制で実施している。また、予約制の場合には、通常検査では 70% (平成 26 年)、即日検査では 91% (平成 26 年) で上限を設けていた。

⑭ HIV 検査の結果返しの期間

平成 26 年の調査では、通常の HIV 検査を行っている保健所における検査結果返しは、1 週間後が 68%、2 週間後が 30%であった。即日検査を行っている保健所において、スクリーニング検査陽性となった時の確認検査の結果返しに関しては、1 週間後が 58%、2 週間後が 38%であった。これらの数字はここ 3 年間ほぼ同様であった。

⑮ HIV 検査の実施設

平成 23 年の調査では、HIV の血清検査の実実施場所としては、通常検査の場合、自保健所での実施が 20%、他保健所への依頼が 12%、衛生研究所への委託が 38%、外部委託による検査は 30%であった。また、確認検査に関しては衛生研究所への依頼が 64%で、外部委託は 25%であった。即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が 64%、医師、保健師が 19%であり、確認検査は衛生研究所で行うが 72%、外部委託は 20%であった。これらの状況はこの 3 年間で大きな違いはみられなかった。

⑯ 特設検査相談施設における検査相談

平成 26 年の調査では、18 か所の特設検査相談機関での検査総数は 23,926 件で、陽性例は 147 例 (0.61%)であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは 138 例 (94%)であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 124 例であり、陽性結果を伝えられた 138 例中の 90%、全陽性例中の 84%であった。平成 24 年からのここ 3 年間の検査数、陽性数、受診したことの把握数ともにそれぞれ大きな違いはなかった。

⑰ 妊婦 HIV 検査に関する 2 次調査

平成 24 年度と平成 25 年度の「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査の設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんから相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所 (平成 25 年度 53 か所、平成 26 年度 50 か所) に対して調査票を送り、平成 25 年には 36 か所(68%)から、平成 26 年度には 39 か所 (79%)、から回答があった。2 年間の回答結果についてまとめると、事例としては、相談のみの事例が 19 例、検査のみの事例が 18 例、相談+検査の事例が 34 例であった。保健所で検査相談を受けた理由としては、基本的には

HIV 感染に対する心配によるものであったが、産婦人科での結果が判定保留のためが 8 例、産婦人科が保健所検査を紹介したためが 4 例あった。

D. まとめと考察

平成 20 年をピークに、その後は新型インフルエンザ、東日本大震災等の影響もあり、国民全体の HIV への関心が下がり、保健所等における HIV 検査相談数も平成 21 年から平成 23 にかけて大きく減少したが、その後の 3 年間（平成 23 年から平成 26 年）は徐々にではあるが増加していることが分かった。陽性率については平成 24 年に 0.25%、平成 25 年に 0.26%、平成 26 年には 0.24%とこの 3 年間ほぼ同じであった。また、特設検査機関における陽性率も平成 24 年に 0.57%、平成 25 年に 0.61%、平成 26 年には 0.61%とこの 3 年間ほぼ一定であった。

陽性結果を受検者本人に伝えられた件数と率は 204(94%), 224(93%), 215(93%)とかなり高い率で推移しており、また、陽性と分かった受検者の医療機関への受診を把握できている率についてもこの 3 年間、73%（平成 24 年度）83%（平成 25 年度）85%（平成 26 年度）と徐々に高くなっていった。

また、陰性結果については、各年とも 98%が受検者に結果が伝えられていることが分かった。

これらの結果から、保健所における HIV 検査相談に結びついた受検者はそのほとんどが検査結果を受取り、また、陽性と分かった場合にはその多くが医療機関に繋がるなど、検査相談体制の充実に関しては一定の評価ができると言える。

しかしながら、感染リスクのある未受検者をいかに受検に繋げるかに関する、HIV 検査相談の利用機会の促進については依然大きな課題として残っている。

保健所で HIV 検査相談を受けた妊婦の例数、背景、経緯等を調査した 2 年間（平成 25 年、26 年）の回答結果についてまとめると、相談のみの事例が 19 例、検査のみの事例が 18 例、相談+検査の事例が 34 例であった。保健所で検査相談を受けた理由としては、基本的には HIV 感染に対する心配によるものであったが、産婦人科での結果が判定保留のためが 8 例、産婦人科が保健所検査を紹介したためが 4 例あった。

妊婦は産科医療機関において HIV 検査を受ける機会があるが、HIV の感染不安から保健所での検査・相談を希望する例が毎年、少なからずあり妊婦の場合においても、保健所が、その感染不安に対応するための HIV 検査相談検査機関として一定の役割を果たしていることが 2 年間のアンケート調査で確認できた。妊婦における HIV 感染の状況や保健所及び産科医療機関における妊婦の HIV 感染不安への対応について、今後ともアンケート等により状況を把握し注視していく必要があると思われる。

本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関しては、平成 24 年度には 1 件、平成 25 年度には HIV 検査と STI 検査等で 5 件と多数の事例があった。このため、平成 25 年度報告書においては、誤通知事例の概要、原因等を報告し、その防止策の強化に関する注意喚起を行った。平成 26 年度は幸い誤通知に関する事例報告は 0 であった。誤通知事例に関する情報を共有し、各施設で誤通知防止のための対策を徹底した成果と思われるが、今後も誤通知等の発生防止に向けて継続した努力と注意喚起が必要である。

謝辞

保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者

の皆様方に深く感謝致します。

E. 研究発表

論文発表

1. 矢永由里子、今井光信、加藤真吾. 研修事業の取り組み：研修をデザインすること. 日本エイズ学会誌、16 (3)、185-193、2014.
2. Kondo M, Lemey P, Sano T, Itoda I, Yoshimura Y, Sagara H, Tachikawa N, Yamanaka K, Iwamuro S, Matano T, Imai M, Kato S, Takebe Y. Emergence in Japan of an HIV-1 variant associated with transmission among men who have sex with men (MSM) in China: first indication of the International Dissemination of the Chinese MSM lineage. J Virol. 87(10): 5351-61, 2013.
3. 井戸田一朗, 星野慎二, 沢田貴志, 佐野貴子, 上田敦久, 加藤真吾, 今井光信: コミュニティーセンター「かながわレインボーセンターSHIP」の夜間 HIV/STIs 即日検査を受けた MSM (men who have sex with men) の特徴及び罹患率. 日本公衆衛生学雑誌 60(5):253-261, 2013.
4. 佐野貴子, 近藤真規子, 吉村幸浩, 立川夏夫, 相楽裕子, 井戸田一朗, 山中晃, 須藤弘二, 加藤真吾, 今井光信: HIV-1 p24 抗原検出感度が向上した改良型 HIV 抗原抗体同時検出試薬の検討. 感染症学雑誌 87(4):415-423, 2013.
5. 近藤真規子, 佐野貴子, 椎野禎一郎, 井戸田一朗, 山中晃, 岩室信也, 吉村幸浩, 立川夏夫, 今井光信, 武部豊, 加藤真吾. 日本で検出した HIV-1 組換え型流行株の解析. 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)
6. 須藤弘二, 藤原宏, 佐野貴子, 近藤真規子, 井戸田一朗, 今井光信, 長谷川直樹, 加藤真吾. 次世代シーケンサーを用いた HIV 感染時期推定法の研究. 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)
7. 須藤弘二, 佐野貴子, 近藤真規子, 今井光信, 加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2013). 第 28 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日, 大阪)
8. 佐野貴子, 井戸田一朗, 川畑拓也, 千々和勝己, 須藤弘二, 近藤真規子, 今井光信, 加藤真吾, 研究協力民間クリニックの先生方: 民間クリニックにおける HIV 即日検査の導入支援および結果解析. 第 27 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 25 年 11 月 20 日-11 月 22 日, 熊本)
9. 近藤真規子, 佐野貴子, 井戸田一朗, 吉村幸浩, 立川夏夫, 山中晃, 岩室紳也, 今井光信, 武部豊, 加藤真吾: 中国の MSM 間で大流行している HIV-1CRF01_AE variant の日本への流入. 第 27 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 25 年 11 月 20 日-11 月 22 日, 熊本)
10. 須藤弘二, 佐野貴子, 近藤真規子, 今井光信, 加藤真吾: HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2012). 第 27 日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 25 年 11 月 20 日-11 月 22 日, 熊本)
11. 佐野貴子, 加藤真吾, 今井光信. 保健所等無料 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況調査. 第 73 回日本公衆衛生

学会発表

1. 佐野貴子, 近藤真規子, 岡部英男, 須藤弘二, 加藤真吾, 今井光信. 保健所および自治体特設 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況について. 第 28 回公衆衛生情報研究協議会研究会. (平成 27 年 1 月 29 日-30 日, 栃木)

学会総会．（平成 26 年 11 月 5 日-11 月 7 日，栃木）

9. 佐野貴子、山田里佳、矢永由里子、近藤真規子、塚原優己、今井光信、加藤真吾．保健所の HIV 検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査．第 28 日本エイズ学会学術集会・総会．（平成 26 年 12 月 3 日-12 月 5 日，大阪）
10. 佐野貴子，小林寛子，杉浦太一，須藤弘二，植田知幸，清水茂徳，近藤真規子，今井光信，加藤真吾：ホームページ「HIV 検査・相談マップ」による HIV 検査機関の情報提供およびサイト利用状況．第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会．（平成 24 年 11 月 24 日-26 日，横浜）
11. 近藤真規子、佐野貴子、須藤弘二、立川夏夫、相楽裕子、岩室紳也、井戸田一郎、山中晃、武部豊、今井光信、加藤真吾：日本で流行している HIV-1 サブタイプの変遷、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会（2012 年 11 月 24～26 日、横浜）。
12. 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾：HIV 郵送検査に関する実態調査(2009-2011)．第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会．（平成 24 年 11 月 24 日-26 日，横浜）

保健所におけるHIV検査体制に関する全国調査の結果

①【保健所アンケート】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
アンケート送付数	585		579		577	
回答数	481	(82%)	493	(85%)	469	(81%)
HIV検査実施保健所数	480	(99.8%)	493	(100.0%)	467	(99.6%)
陽性結果のあった保健所数	110	(23%)	113	(23%)	114	(24%)
検査数	85,540		93,408		94,419	
陽性件数	217	(0.25%)	240	(0.26%)	231	(0.24%)
陽性結果を伝えられた件数	204	(94%)	224	(93%)	215	(93%)
受診したことを把握できた件数	148	(73%)	185	(83%)	182	(85%)
動向調査の報告を行った感染者	135	(62%)	146	(61%)	131	(57%)
陰性結果を伝えられた件数	83,822	(98%)	91,364	(98%)	92,665	(98%)

②【特設検査機関アンケート】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
アンケート送付数	25		23		23	
回答数	21	(84%)	18	(78%)	18	(78%)
陽性結果のあった検査機関	21	(100%)	15	(83%)	14	(78%)
検査数	26,926		23,318		23,926	
陽性件数	154	(0.57%)	142	(0.61%)	147	(0.61%)
陽性結果を伝えられた件数	144	(94%)	132	(93%)	138	(94%)
受診したことを把握できた件数	127	(88%)	112	(85%)	124	(90%)
動向調査の報告を行った感染者	137	(89%)	120	(85%)	122	(83%)
陰性結果を伝えられた件数	26,413	(98%)	22,737	(98%)	23,241	(97%)

③【HIV検査と同時に行っている性感染症検査】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
性感染症検査を行っている	400	(83%)	422	(77%)	400	(84%)
梅毒	312	(78%)	320	(65%)	310	(66%)
クラミジア抗体	225	(56%)	209	(42%)	180	(39%)
クラミジア抗原	68	(17%)	113	(23%)	106	(23%)
淋菌	34	(9%)	48	(10%)	41	(9%)
B型肝炎	313	(78%)	333	(68%)	298	(64%)
C型肝炎	291	(73%)	325	(66%)	289	(62%)
その他	12	(3%)	18	(4%)	10	(2%)

④【即日検査と通常検査】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	480		493		467	
通常検査のみ	166	(34.6%)	156	(31.6%)	144	(30.8%)
即日検査のみ	188	(39.2%)	212	(43.0%)	195	(41.8%)
通常+即日	126	(26.3%)	125	(25.4%)	128	(27.4%)

⑤【検査の予約と上限の有無 (通常検査)】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
	292		281		272	
予約制である	164	(56.2%)	162	(57.7%)	156	(57.4%)
予約制ではない	125	(42.8%)	115	(40.9%)	112	(41.2%)
上限がある	106	(36.3%)	105	(37.4%)	109	(40.1%)
上限はない	182	(62.3%)	170	(60.5%)	158	(58.1%)

⑥【検査の予約と上限の有無 (即日検査)】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
	314		337		323	
予約制である	253	(80.6%)	272	(80.7%)	258	(79.9%)
予約制ではない	57	(18.2%)	63	(18.7%)	60	(18.6%)
上限がある	220	(70.1%)	246	(73.0%)	236	(73.1%)
上限はない	88	(28.0%)	89	(26.4%)	81	(25.1%)

⑦【平日、夜間、土曜・日曜】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	480		493		467	
平日検査	249	(51.9%)	248	(50.3%)	236	(50.5%)
夜間検査	171	(35.6%)	182	(36.9%)	81	(17.3%)
土曜+日曜	60	(12.5%)	63	(12.8%)	70	(15.0%)

⑧【各種HIV検査の実施状況(保健所数の割合)】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	480		493		467	
通常のみ+平日昼のみ	131	(27.3%)	116	(23.5%)	112	(24.0%)
通常のみ+夜間も行っている	33	(6.9%)	35	(7.1%)	30	(6.4%)
通常+土日検査も	2	(0.4%)	5	(1.0%)	2	(0.4%)
即日のみ+平日昼のみ	87	(18.1%)	102	(20.7%)	83	(17.8%)
即日のみ+夜間も行っている	74	(15.4%)	84	(17.0%)	80	(17.1%)
即日+土日検査も	27	(5.6%)	26	(5.3%)	32	(6.9%)
通常+即日・平日昼のみ	31	(6.5%)	30	(6.1%)	37	(7.9%)
通常+即日・夜間も行っている	64	(13.3%)	63	(12.8%)	55	(11.8%)
通常+即日・土日検査も	31	(6.5%)	32	(6.5%)	36	(7.7%)

⑨【各種HIV検査の実施状況(受検者の割合)】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	85,540		93,408		94,419	
通常のみ+平日昼のみ	15,474	(18.1%)	15,189	(16.3%)	16,656	(17.6%)
通常のみ+夜間も行っている	4,142	(4.8%)	5,360	(5.7%)	3,512	(3.7%)
通常+土日検査も	414	(0.5%)	1,339	(1.4%)	2,582	(2.7%)
即日のみ+平日昼のみ	9,708	(11.3%)	12,606	(13.5%)	10,250	(10.9%)
即日のみ+夜間も行っている	10,003	(11.7%)	10,570	(11.3%)	10,364	(11.0%)
即日+土日検査も	9,574	(11.2%)	11,570	(12.4%)	13,582	(14.4%)
通常+即日・平日昼のみ	6,526	(7.6%)	7,266	(7.8%)	7,234	(7.7%)
通常+即日・夜間も行っている	14,320	(16.7%)	13,093	(14.0%)	10,473	(11.1%)
通常+即日・土日検査も	15,379	(18.0%)	16,415	(17.6%)	19,766	(20.9%)

⑩【各種HIV検査の実施状況(陽性者の割合)】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	217		240		231	
通常のみ+平日昼のみ	64	(29.5%)	44	(18.3%)	50	(21.6%)
通常のみ+夜間も行っている	18	(8.3%)	23	(9.6%)	8	(3.5%)
通常+土日検査も	1	(0.5%)	2	(0.8%)	5	(2.2%)
即日のみ+平日昼のみ	19	(8.8%)	32	(13.3%)	19	(8.2%)
即日のみ+夜間も行っている	17	(7.8%)	17	(7.1%)	23	(10.0%)
即日+土日検査も	27	(12.4%)	37	(15.4%)	37	(16.0%)
通常+即日・平日昼のみ	11	(5.1%)	16	(6.7%)	11	(4.8%)
通常+即日・夜間も行っている	27	(12.4%)	20	(8.3%)	23	(10.0%)
通常+即日・土日検査も	33	(15.2%)	49	(20.4%)	55	(23.8%)

⑪【一施設あたりの検査人数（陽性者数）】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	85,540		93,408		94,419	
通常のみ+平日昼のみ	118	0.5人	131	0.4人	149	0.4人
通常のみ+夜間も行っている	126	0.5人	153	0.7人	117	0.3人
通常+土日検査も	207	0.5人	268	0.4人	1,291	2.5人
即日のみ+平日昼のみ	112	0.2人	124	0.3人	123	0.2人
即日のみ+夜間も行っている	135	0.2人	126	0.2人	130	0.3人
即日+土日検査も	355	1.0人	445	1.4人	424	1.2人
通常+即日・平日昼のみ	211	0.4人	242	0.5人	196	0.3人
通常+即日・夜間も行っている	224	0.4人	208	0.3人	190	0.4人
通常+即日・土日検査も	496	1.1人	513	1.5人	549	1.5人

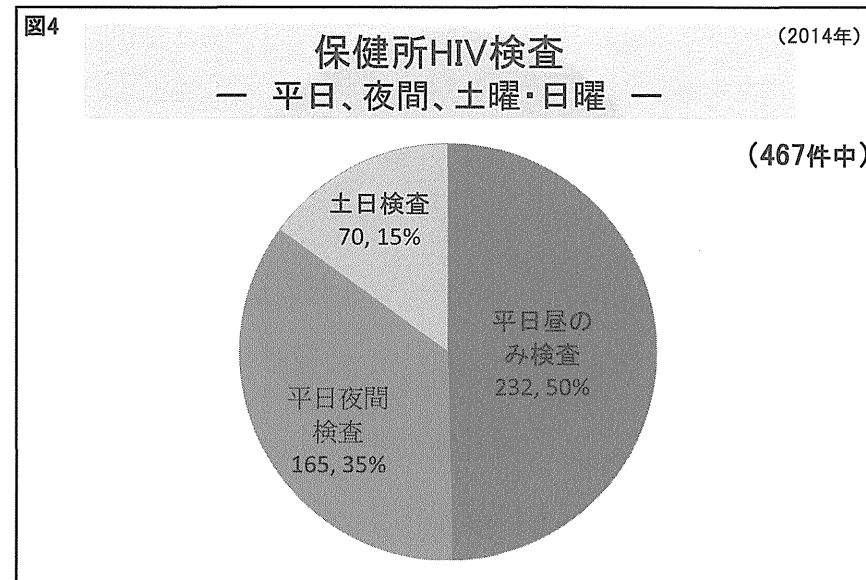
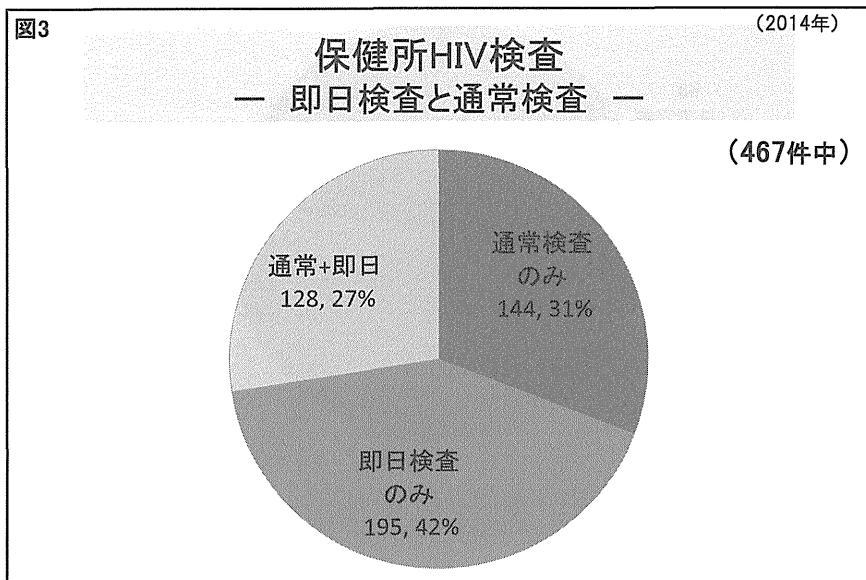
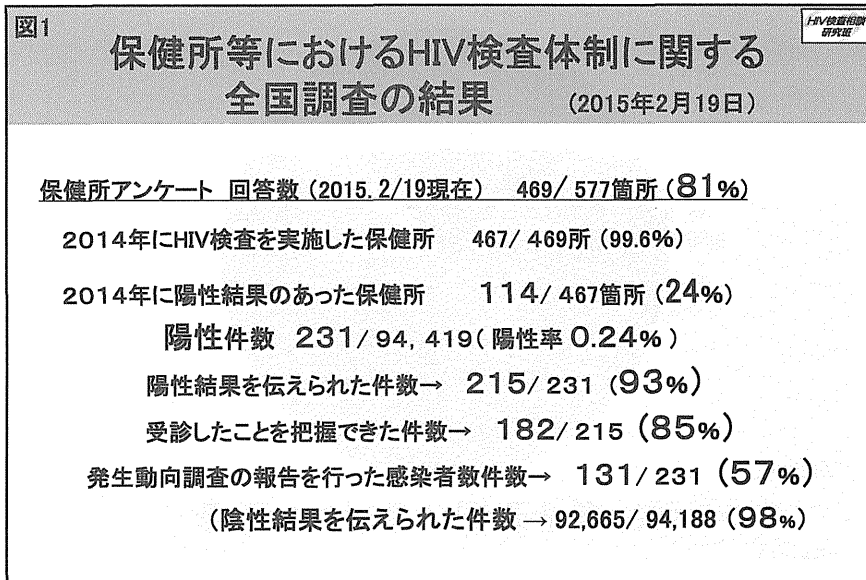
⑫【年間検査件数別の保健所数】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	480		493		467	
50未満	176	(36.7%)	177	(35.9%)	157	(33.6%)
55-99	95	(19.8%)	91	(18.5%)	87	(18.6%)
100-199	84	(17.5%)	98	(19.9%)	93	(19.9%)
200-499	89	(18.5%)	84	(17.0%)	88	(18.8%)
500-999	27	(5.6%)	31	(6.3%)	29	(6.2%)
1000以上	8	(1.7%)	12	(2.4%)	13	(2.8%)

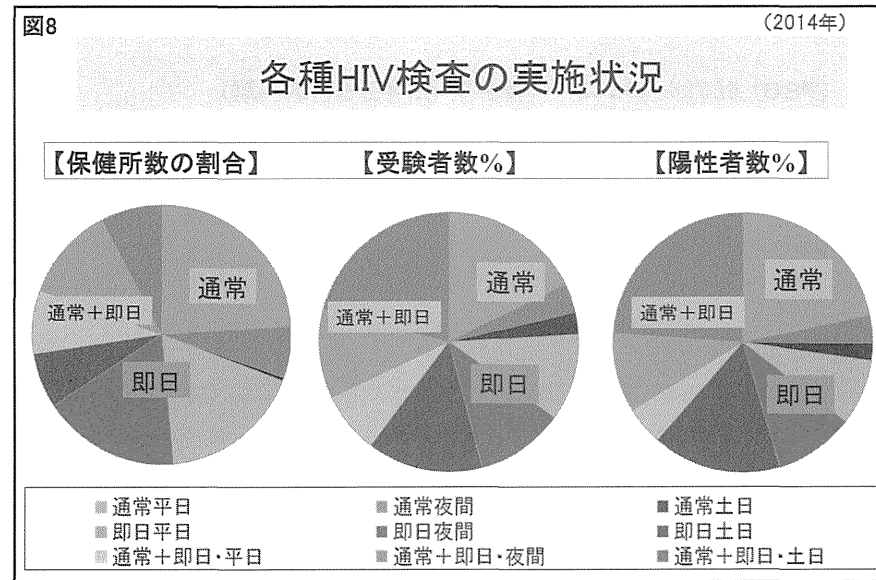
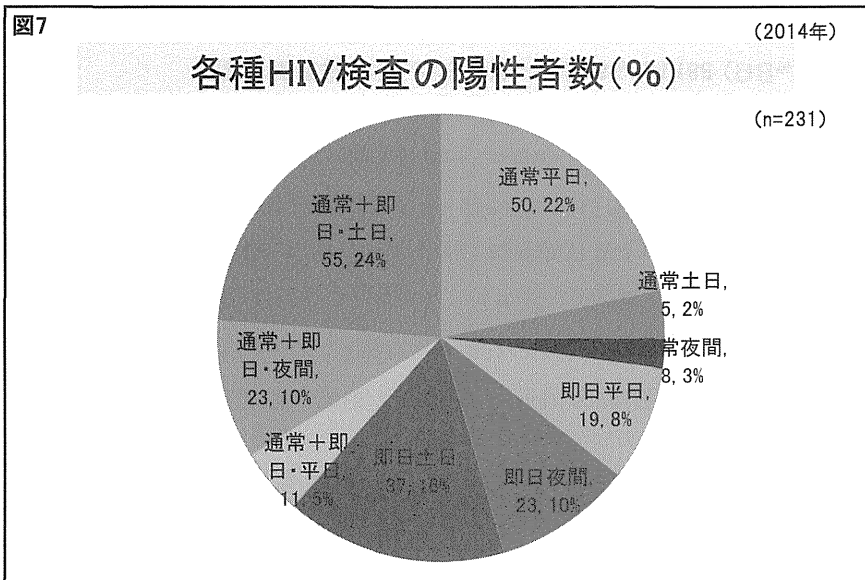
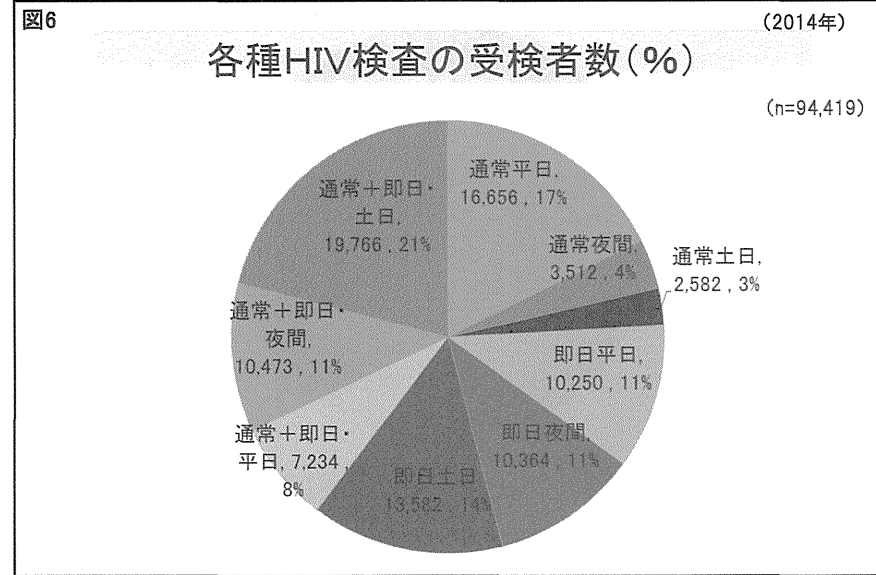
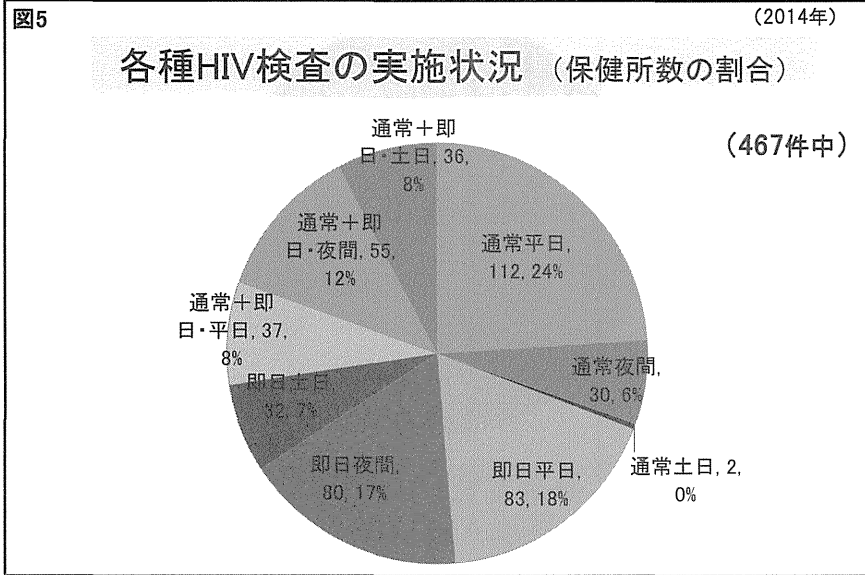
⑬【年間検査件数別の検査数】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	85,540		93,408		94,419	
50未満	3,905	(4.6%)	3,977	(4.3%)	3,647	(3.9%)
55-99	6,662	(7.8%)	6,492	(7.0%)	6,160	(6.5%)
100-199	12,136	(14.2%)	14,172	(15.2%)	13,751	(14.6%)
200-499	28,098	(32.8%)	25,617	(27.4%)	27,519	(29.1%)
500-999	19,521	(22.8%)	22,370	(23.9%)	20,949	(22.2%)
1000以上	15,218	(17.8%)	20,780	(22.2%)	22,393	(23.7%)

⑭【年間検査件数別の陽性率】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
全体	217		240		231	
50未満	6	(0.15%)	4	(0.10%)	6	(0.16%)
55-99	10	(0.15%)	11	(0.17%)	11	(0.18%)
100-199	30	(0.25%)	25	(0.18%)	31	(0.23%)
200-499	68	(0.24%)	62	(0.24%)	63	(0.23%)
500-999	51	(0.26%)	65	(0.29%)	44	(0.21%)
1000以上	52	(0.34%)	73	(0.35%)	76	(0.34%)

⑮【年間検査件数別の陽性経験数】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
	480		493		467	
全体	110	(22.9%)	113	(22.9%)	114	(24.4%)
50未満	6	(5.5%)	4	(3.5%)	6	(5.3%)
55-99	9	(8.2%)	11	(9.7%)	11	(9.6%)
100-199	20	(18.2%)	20	(17.7%)	27	(23.7%)
200-499	47	(42.7%)	40	(35.4%)	39	(34.2%)
500-999	20	(18.2%)	27	(23.9%)	19	(16.7%)
1000以上	8	(7.3%)	11	(9.7%)	12	(10.5%)

⑯【年間検査件数別の受診把握率】						
	2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)	
	234		241		220	
全体	148	(63.2%)	185	(76.8%)	182	(82.7%)
50未満	5	(83.3%)	4	(100.0%)	5	(83.3%)
55-99	8	(80.0%)	9	(81.8%)	5	(45.5%)
100-199	19	(63.3%)	15	(60.0%)	24	(77.4%)
200-499	53	(77.9%)	52	(83.9%)	47	(74.6%)
500-999	32	(62.7%)	47	(72.3%)	37	(84.1%)
1000以上	31	(59.6%)	58	(79.5%)	64	(84.2%)





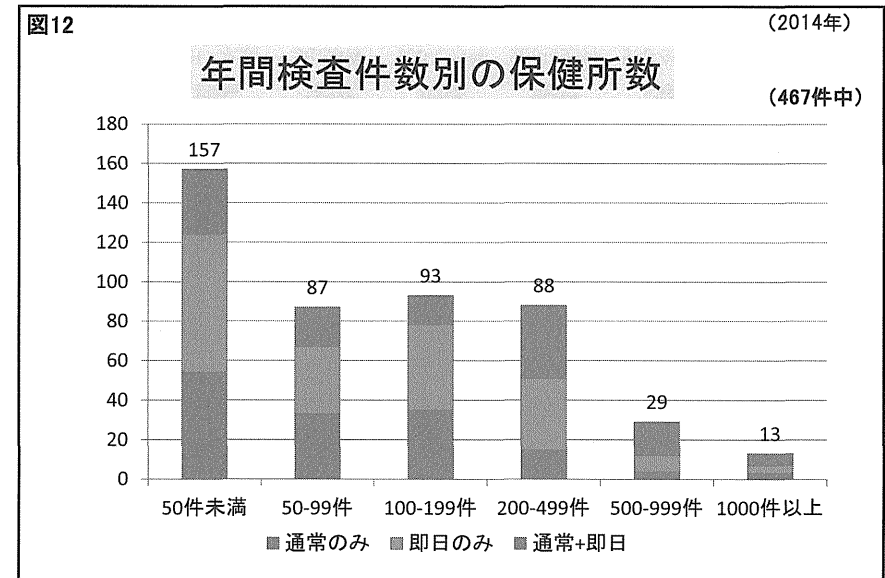
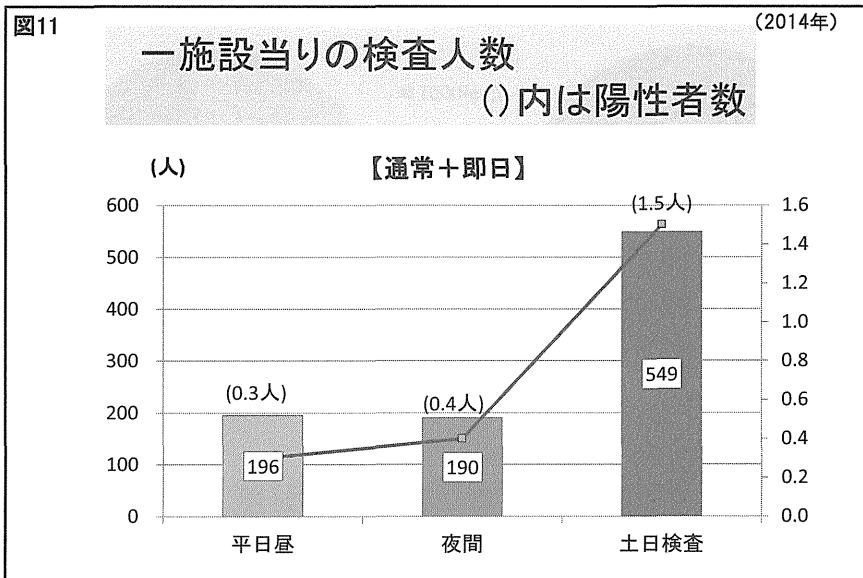
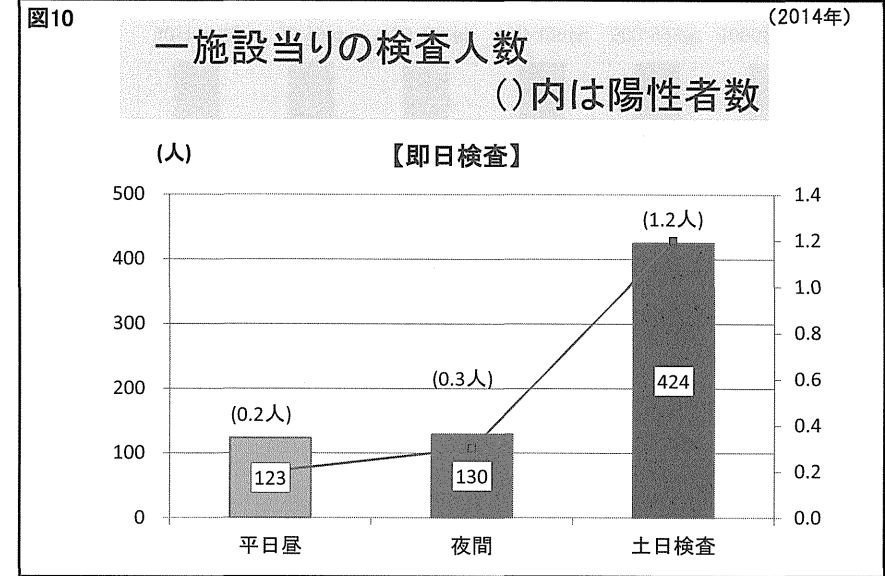
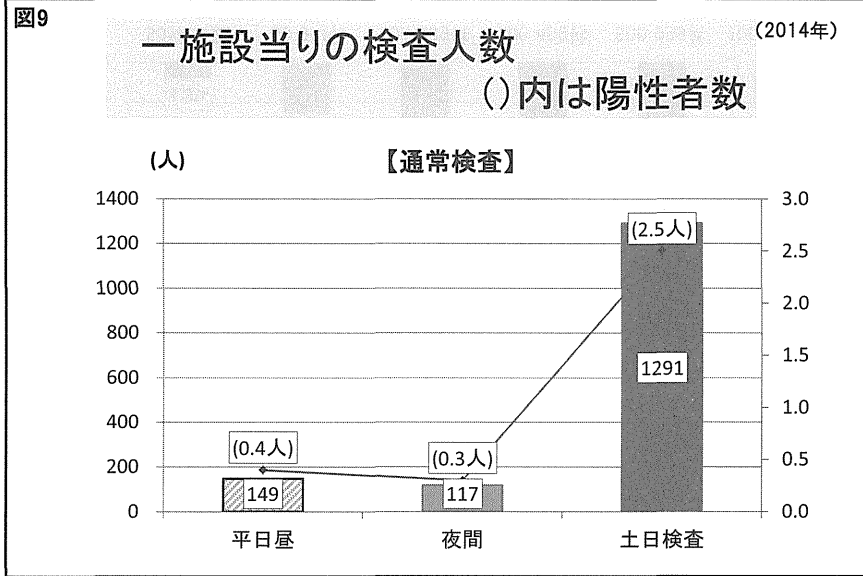


図13

(2014年)

年間検査件数別の
保健所数と検査数の割合

【保健所数】

【検査人数】

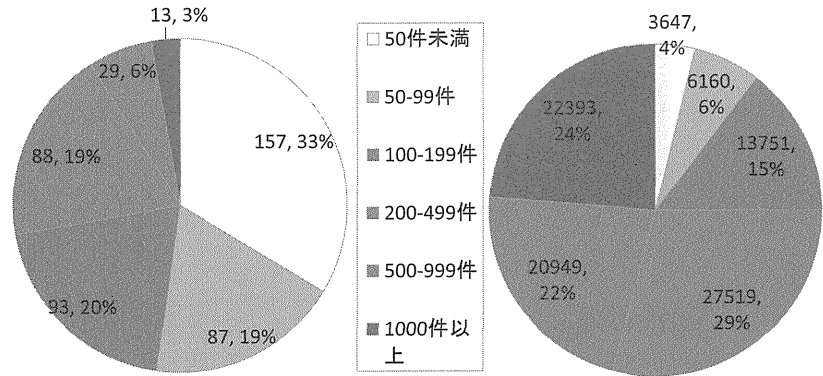


図14

(2014年)

年間検査件数別の陽性率

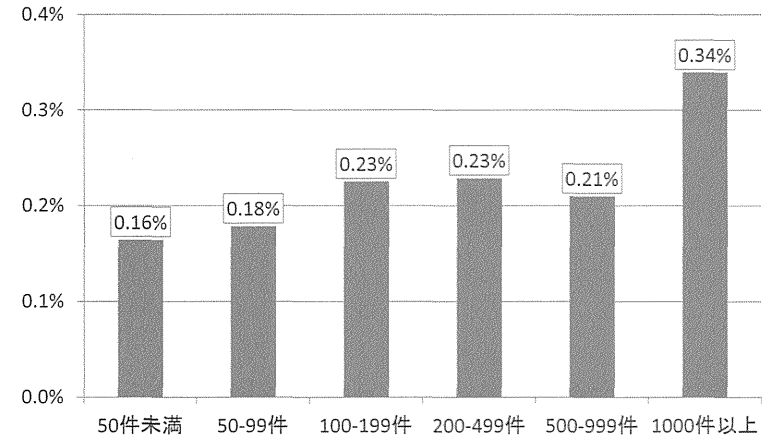


図15

(2014年)

年間検査件数別の陽性経験率

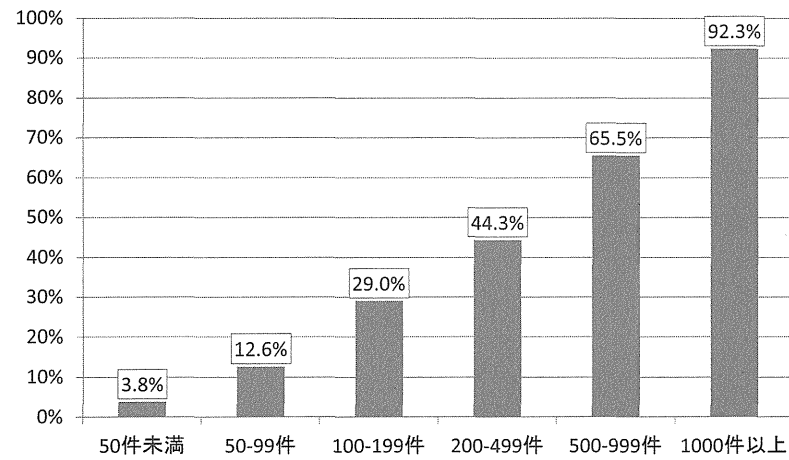
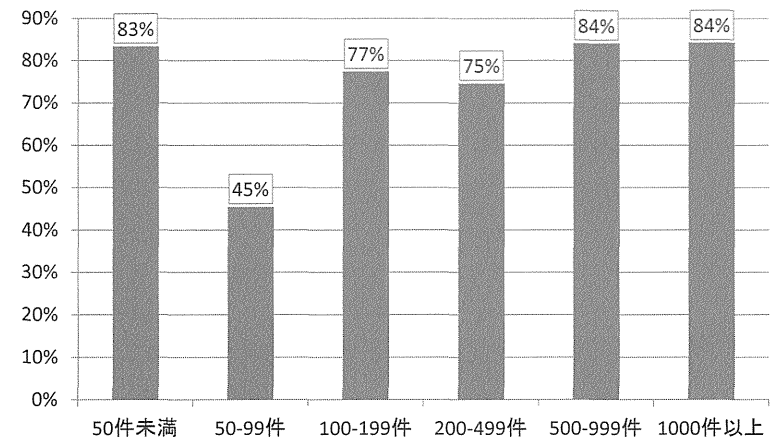
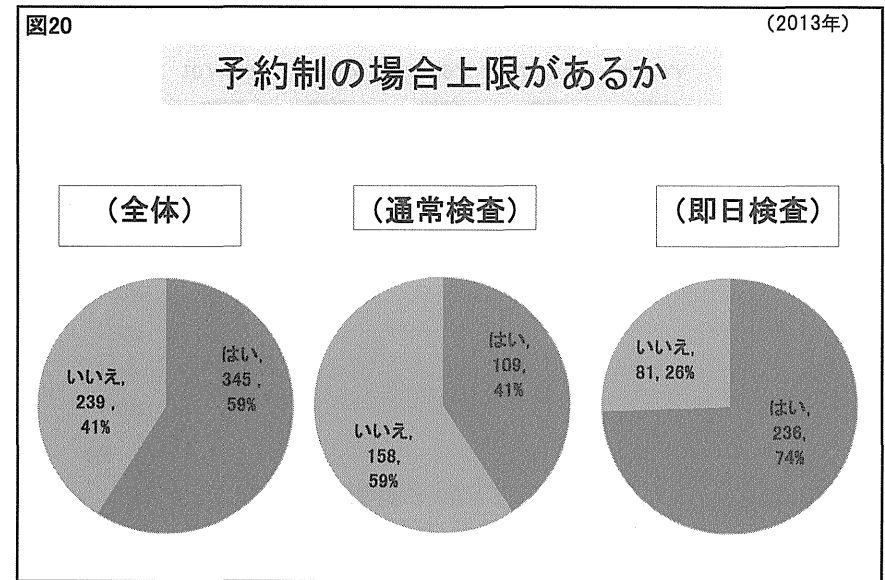
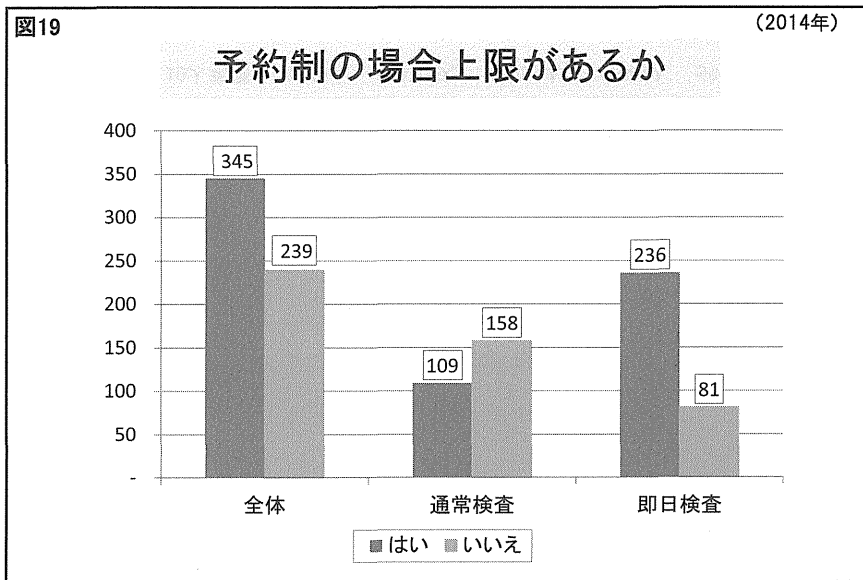
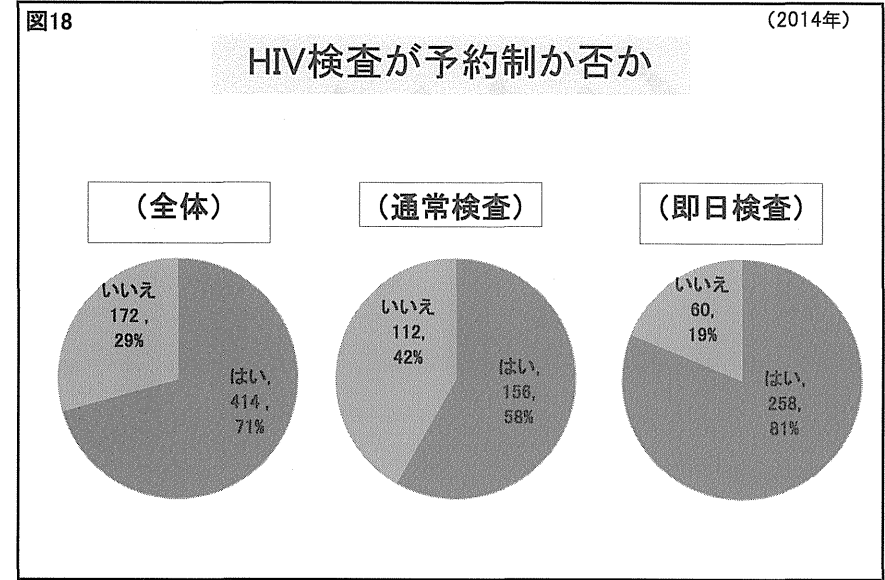
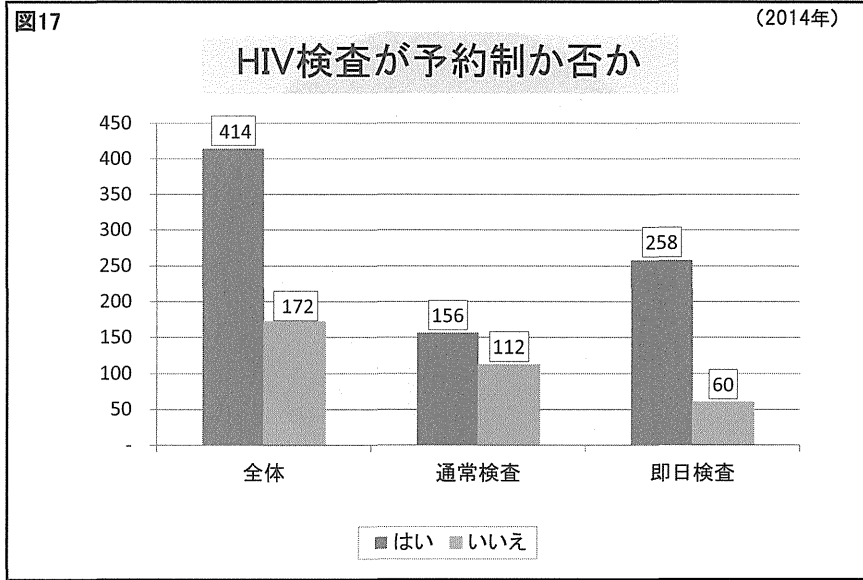


図16

(2014年)

年間検査件数別の受診把握率





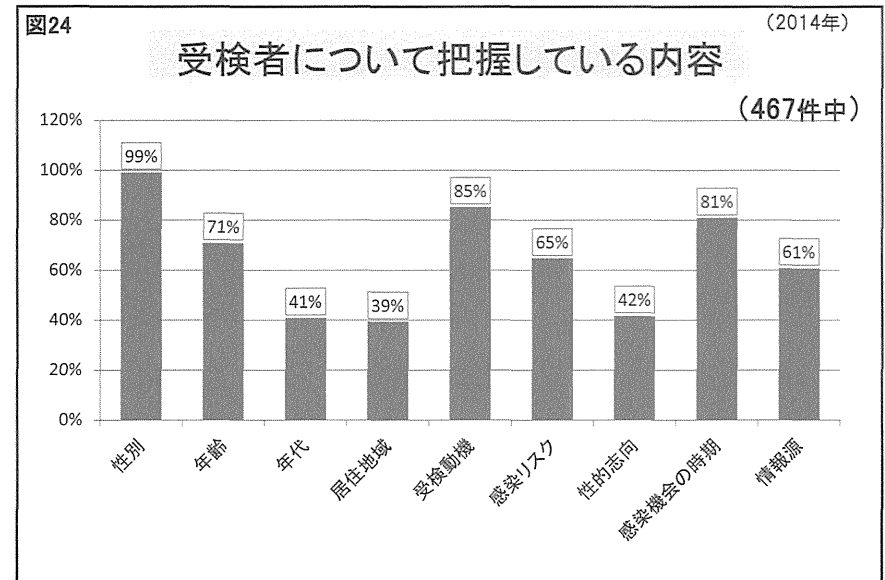
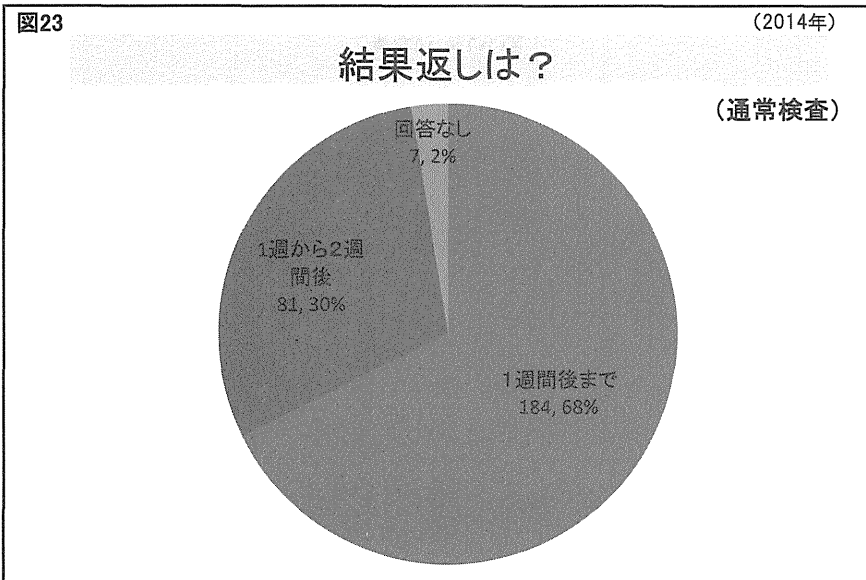
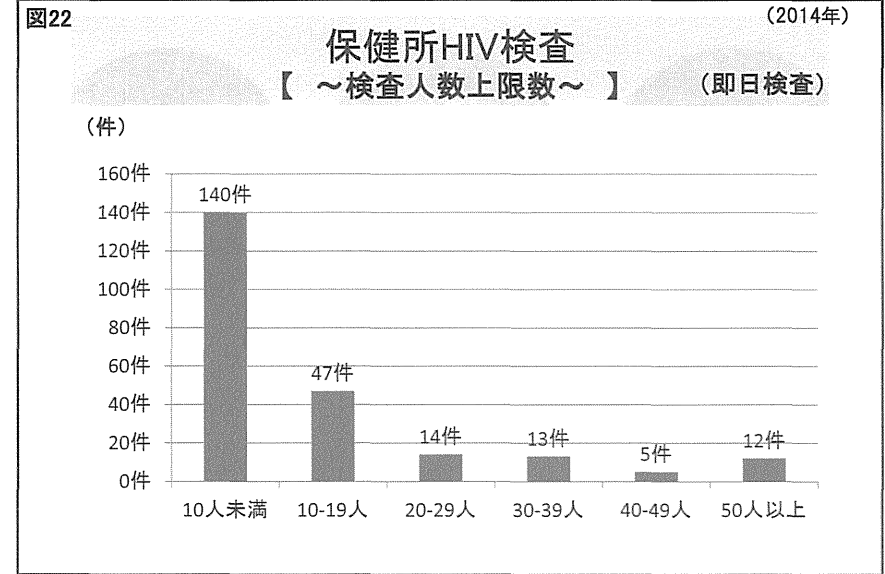
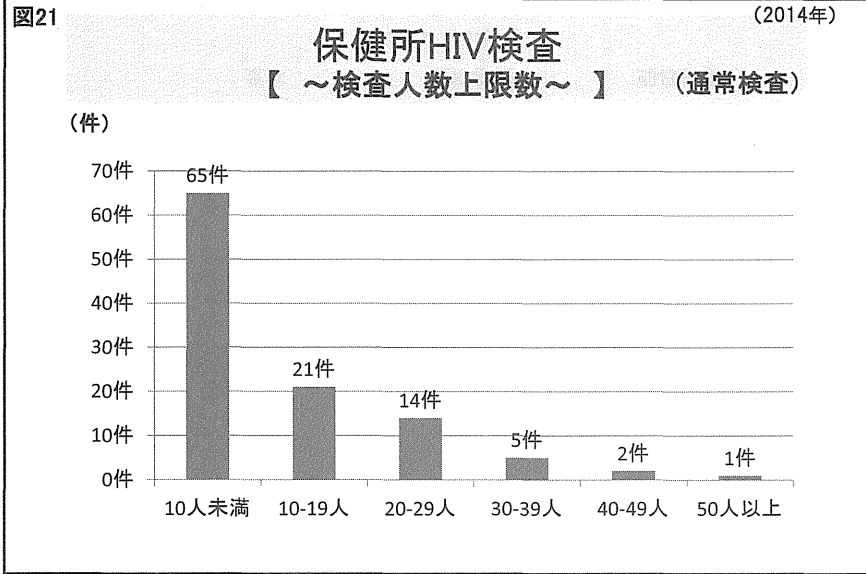


図25 (2014年)

HIV以外の性感染症検査を行っているか

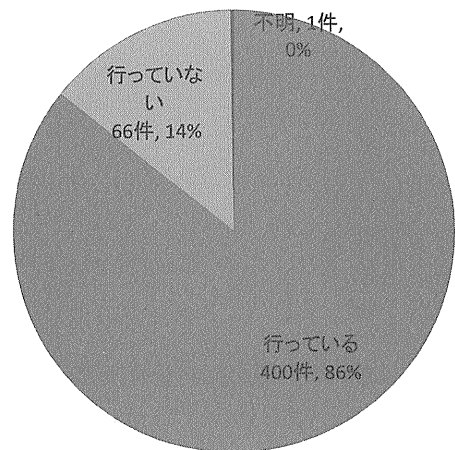


図26 (2014年)

HIV以外の性感染症検査を行っているか

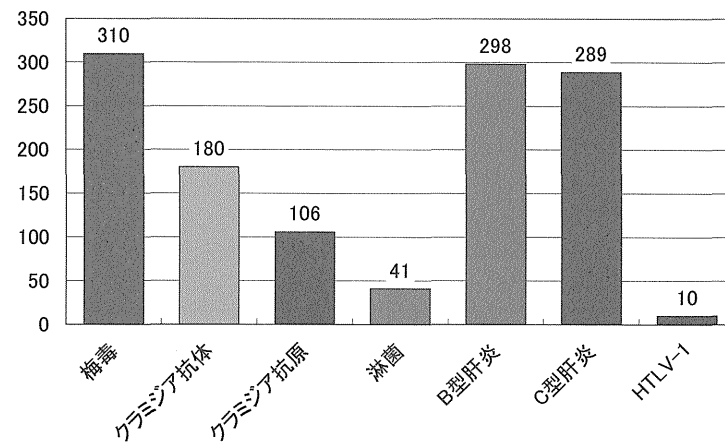


図27 (2014年)

確認検査で陽性の場合届出を行うか
(全保健所)

(467件中)

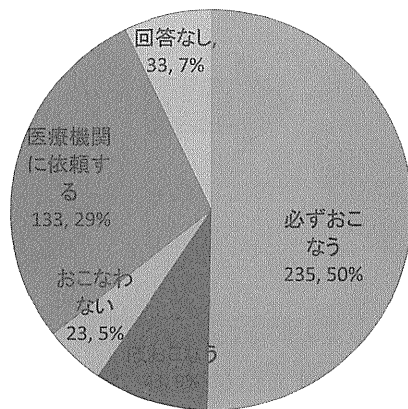


図28 (2014年)

確認検査で陽性の場合届出を行うか
(陽性経験数)

(n=114)

